

さあ、2学期の良いまとめをしよう！

山々の木々も葉を落とし初め、冬の準備に入りました。平素は聖母の小さな学校の教育にご協力、ご支援いただき深く感謝申し上げます。さて、皆様ご承知のように不登校の子ども数も増加の一途を辿り、245,000人近くになりました。子どもたちの一人一人を見、接点を持ち、話を聞き、行動を作っていく以外に特効薬はないでしょう。10年単位の時間がかかります。そして、大人や社会は子どもにかかる時間と心をたくさん求められています。そのことに、私たちは真面目に答えなくてはならないのです。京都府では、子どもとの接点の持ち方、また支援の仕方を考える上で、子どもたちの様子を

1. 学校には行けるが、教室へは入れない 2. 家の外へは出られるが、学校には行けない 3. 家の外にも出にくく、引きこもりがちである と三つに分けて考えたことがあります。本校には、3. のどちらかという引きこもりがち子どもたちが集います。本人も保護者も、気持ちや考えは混乱し、どうしていいかわからなくなっています。行動もはっきりしません。そんな日々のことを、ある卒業生は「一日中、体調が悪いような…」とか、「死にたくなるような日々を過ごしていた」と表現しています。聖母の小さな学校では、保護者の混乱やとまどいを整理するために、また子ども様子を良くつかみ、交わりを深めるために、個別の教育相談や保護者会をしています。そして保護者と力を合わせて子どもたちに基礎的な生活力がつくよう教育にあたります。朝起きることができるようになったり、週1回、10分程聖母に登校したり、校外学習に参加したり、体験学習（華道、陶芸など）を楽しんだり、一歩ずつ家から出る練習をしています。そしてその事が継続し、定着することを目指しています。ある生徒が、三ヶ月振りに夕方、10分登校しました。毎日、気にかけていますので、「〇〇さんが登校して、本当にうれしい」と申しましたら、「自分もうれしい」と満面の笑みを浮かべました。一歩一歩ですが、諦めずにいたいと思います。250余名の本校の卒業生たちは、在校生であった時、苦しくて外に出る事が難しく、心を閉ざしていても、深いところでは、人と交わり、協力し、ともに社会を形成してゆきたいという望みを持っていました。そして、それを実現してゆきました。今、通っている生徒たちも同じです。希望を持って、導いてゆきたいと思います。

11月3日（木・祝日）は「聖母の小さな学校創立30周年記念企画＝鯖街道を歩く」の第3回目がありました。5名の先生の引率でした。出発から合計30kmほど歩いたこととなります。



また11月15日(火)の釣り大会は、3名の生徒が参加できました。晴天の中、大漁でした(アジ・グレなど100余匹)。楽しい一日となりました。11月23日(水・祝日)には、第8回親子バス遠足「戦国時代の城を訪ねる旅～佐和山城跡・彦根城を訪ねて～」がありました。4組の親子の参加があり、生きた歴史学習を大人も子どもも楽しみました。



保護者の皆様には、聖母と面接を取り、原籍校とも面接をとり、子どもたちを支えてください。聖母も原籍校と連絡会を持ちます。2学期のまとめに向けて、ともに努力をしたいものです。今月もよろしくお願いたします。

<今月の主な行事>

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 3日(土)「鯖街道を歩く」第4回目 | 16日(金)ギター教室(北浦先生) |
| 5日(月)・20日(火)ウズベキスタン教室 | 18日(日)学期末保護者 |
| 7日(水)体育(渡邊先生) | 19日(月)華道教室 |
| 9日(金)理科(中岡先生) | 21日(水)クリスマス会 |
| 14日(水)陶芸教室(高井先生) | 23日(金)2学期終業式 |